

専門実践教育訓練明示書

講座の名称	生き生きと働く実践力のある助産師キャリアアッププログラム(プライマリコース)													
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 5 回)													
指定講座番号	9	2	0	1	6	—	1	7	2	0	0	1	—	3
講座の創設年月日 平成27年4月10日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 平成32年9月30日				過去一年の 講座実績	H29年度 入講者数14人				H29年度 修了者数14人				
訓練期間	12ヶ月					総訓練時間				120時間				
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格等の名称、目標レベル						<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ()								
						<input checked="" type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ()								
						<input type="checkbox"/> 専門職学位 ()								
						教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等								
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						国立大学法人 長崎大学								
③当該資格取得等をするための要件又は受験資格等						助産師免許取得者で臨床経験3年以上の者								
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						助産師、受胎調節実地指導員。病院、診療所での助産師活動の他、助産所を開設し、より濃密な母子への助産実践を行うことができる。また地域における母子保健活動、児童生徒への性教育の実施など周産期にとどまらず女性のライフサイクルに大きく関わるなどの活用がなされている。								
2. 教育訓練の内容														
教 科						時 間		備 考						
Updateな情報(情報リテラシー)を修得する科目(2単位)						30 時間								
Updateな実践能力を修得する科目(2単位)						33 時間								
対人関係能力を修得する科目(2単位)						25.5 時間								
教育力・マネジメント力を修得する科目(2単位)						31.5 時間								
※詳細は別紙科目一覧の通り						時間								
						時間								
						時間								
						時間								
						時間								
						時間								
合 計						120 時間		合計8単位						
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講にあたって必要な実務経験						助産師免許取得者で臨床経験3年以上の者								
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識の内容及びその水準						妊産褥婦・新生児の各期に応じた必要な助産ケアが行える								
③その他														

[特記事項]

--

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況 (H28年度 16人)					
① 前年度の修了者数	16 人				
② ①に係る教育訓練の入講者数	16 人				
③ ②のうち目標資格の受験者数	16 人	受験率(③/②)	100.0	%	
④ ③のうち合格者数	16 人	合格率(④/③)	100.0	%	
⑤ ②(入講者)のうちの就職者数 ※1	16 人				
⑥ ②(入講者)のうちの在職者数 ※2	16 人	就職・在職率⑤+⑥/①	100.0	%	
※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職したものの、この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。 ※2 受講開始時にすでに職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時にすでに職に就いているもので、修了後に別の職に転職した者。					
(2) 受講修了者による講座の評価等 H28年度のアンケート結果(16人中14人回答)					
① 回答者総数			14 人		
② 受講開始時の就業状況等(問2)	1 正社員		14 人	②A: 就業者計	14
	2 非正社員、派遣社員		0 人		
	3 その他の就業(自営業等)		0 人		
	4 学生		0 人	②B: 非就業者計	0
	5 休職中		0 人		
	6 非就業者		0 人		
③ 就業中の受講者による講座の評価(問3)	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		1 人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	14
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		0 人		
	3 社内外の評価が高まる		3 人		
	4 円滑な転職に役立つ		0 人		
	5 趣味・教養に役立つ		4 人		
	6 その他の効果		4 人		
	7 特に効果はない		2 人		
④ 就業していない受講者による講座の評価(問4(1))	1 早期に就職できる		人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0
	2 希望の職種・業界で就職できる		人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況(問4(2))	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0
	2 受講修了後3~6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6~12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑥ 講座の全体評価(問5)	1 大変満足		6 人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	14
	2 おおむね満足		7 人		
	3 どちらとも言えない		1 人		
	4 やや不満		0 人		
	5 大いに不満		0 人		
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	各科目のe-ラーニング受講状況をログで把握し、テストの結果を把握する。知識レベルは、e-ラーニングテスト「80%以上」、技能はOSCEを用いて「ほぼ一人で判断して実施できる」を基準とする。出席率は、e-ラーニング受講状況および対面授業(演習)への参加が8割以上とする。				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	場所: 長崎大学医学部保健学科 時期: 平成30年5月12日、7月22日、9月22,23日、11月10日、平成31年2月22日(予定) 回数: 5回				

専門実践教育訓練明示書

6. 受講効果の把握方法				
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準)	講義科目：e-ラーニング受講状況、e-ラーニング受講後のテスト、 対面授業での参加度 演習科目：演習時の実技、演習後のレポート			
(2)受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	各科目のe-ラーニング受講状況をログで把握し、テストの結果を把握する。知識レベルは、e-ラーニングテスト「80%以上」、技能はOSCEを用いて「ほぼ一人で判断して実施できる」を基準とする。			
(3)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率は、e-ラーニング受講状況および対面授業(演習)への参加が8割以上とする。 各科目2単位の取得、合計8単位の取得をもって修了とする。			
(4)修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	(2)記載の到達度把握・測定方法による評価によって、受講者が単位取得できたかどうかで判断する。			
7. 受講中又は修了時における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法				
(1)受講者に対する習得度・理解度についての具体的な助言・指導方法	受講生への定期的なアンケート調査の実施、メールや掲示板を利用した質問への対応、希望に応じた個別指導を行う。			
(2)受講中・修了時における資格取得・就職へのバックアップ体制	受講時に未就労の場合、希望により受講生との面談等を行い、就業先の情報提供や助産技術支援を行う。			
8. その他の事項				
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	国立大学法人 長崎大学 代表者名 大学長 河野 茂			
住所及び連絡先	長崎市文教町1-14 TEL:095-819-2075			
施設名称及び施設長名	長崎大学 代表者名 大学長 河野 茂			
住所及び連絡先、担当者	長崎市文教町1-14 TEL:095-819-2075 担当者:教育支援課 多田 拓朗			
苦情受付者	氏名 松井 香子 所属 保健学実践教育研究センター TEL:095-819-7937			
事務担当者	氏名 茂田 千砂子 所属 保健学実践教育研究センター TEL:095-819-7937			
専門実践教育訓練経費 支払い方法	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費(①+②)	100,000円		
	①一括払	①入学料(税込額)	0円	
	②分割払	②受講料(税込額)	前期授業料	50,000円
			後期授業料	50,000円
	③両方可	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費(①+②+③+④)	10,000円	
	①任意の教材費(税込額)	0円		
	②実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	10,000円		
	③施設維持費(税込額)	0円		
④その他(税込額)	0円			
3. 総額(1+2)(税込額)	110,000円			

教育訓練給付制度の適正な利用に必要な事項について

教育訓練給付制度を適正に利用していただくために、以下の点について十分にご理解
いただくようお願いいたします。

- (1) 専門実践教育訓練給付金の支給対象となる教育訓練経費とは、受講者が自らの
名において直接専門実践教育訓練実施者に対して支払った教育訓練の受講に必要な
入学料及び受講料（最大3年分）に限られます。
- (2) 受講料には、受講費のほか、受講に伴い必須となる教材費用等も含まれますが、
検定試験受験料、補助教材費、補講費、交通費、パソコン等の器材費等は含まれま
せん。また、クレジット会社に対する手数料、支給申請時点での未納の額（クレジ
ット会社を介してクレジット契約が成立している場合を除きます。）も教育訓練経
費に含まれるものではありません。
- (3) 現金等（有価証券等を含みます。）や物品の還元的な給付その他の利益を受
けた場合や、各種割引の適用を受けた場合には、その還元的な給付額や割引額等
を差し引いた額が教育訓練給付金の対象となる教育訓練経費となります。
このため、このような還元的な給付等を受けた場合には、入学料及び受講料の
額から当該還元額を控除した額で教育訓練給付金の支給を申請することが必要に
なります。
なお、当該教育訓練経費に係る領収書又はクレジット契約証明書の発行後、受
講料の値引き等により教育訓練経費の一部の還付が行われた場合には、教育訓練
給付金の支給申請に際しては、教育訓練実施者が受講者に発行する、還元額等が
記載された「返還金明細書」の提出が必要となります。
- (4) 専門実践教育訓練給付金は、当該教育訓練を実際に本人が受講し、修了した場合支給
されるものです。このため本人以外の者が受講し、修了等した場合には、専門実践教
育訓練給付金は支給されません。
また、当該教育訓練の定期的な試験又は修了試験に際して、あらかじめ解答が添付さ
れている場合等にあつては、当該教育訓練を修了する見込みがあるもの又は修了した
ものとは認められていませんので、専門実践教育訓練給付金の支給を受けることはで
きません。

履修証明プログラム

「生き生きと働く実践力のある助産師キャリアアッププログラム」科目一覧

1. Update な情報（情報リテラシー）を修得する科目（2単位）〈30時間〉

目標：産科・周産期領域の関連の最新知識を理解することができる。

	授業項目	詳細	教育方法
1	臨床薬理学	妊娠、分娩、授乳期の女性における薬物使用	講義（e-ラーニング）
2	高度生殖補助医療	不妊症、体外受精、胚移植、生命倫理	講義（e-ラーニング）
3	遺伝に関する知識（1）	遺伝の基礎、	講義（e-ラーニング）
4	遺伝に関する知識（2）	出生前診断	講義（e-ラーニング）
5	遺伝に関する知識（3）	遺伝に関する検査	講義（e-ラーニング）
6	妊娠・分娩とオキシトシン	愛情豊かな分娩・育児をもたらすオキシトシン	講義（e-ラーニング）
7	産科合併症（1）	産科合併症全般（妊娠期）	講義（e-ラーニング）
8	産科合併症（2）	産科合併症全般（分娩・産褥期）	講義（e-ラーニング）
9	母子感染	TORCH, ATL, HB 等	講義（e-ラーニング）
10	ウィメンズヘルス（1）	思春期・不妊・女性とパートナーへの支援（DV）	講義（e-ラーニング）
11	ウィメンズヘルス（2）	中高年・月経障害・性感染症	講義（e-ラーニング）
12	制度・施策（1）	妊娠・出産・育児に関連した法律や制度について	講義（e-ラーニング）
13	制度・施策（2）		講義（e-ラーニング）
14	産科領域ガイドライン（1）	助産業務ガイドライン	講義（e-ラーニング）
15	産科領域ガイドライン（2）	産婦人科診療ガイドライン	講義（e-ラーニング）
16	産科領域ガイドライン（3）	その他のガイドライン	講義（e-ラーニング）
17	EBMの実践に向けて（1）	EBMとは、研究デザイン	講義（e-ラーニング）
18	EBMの実践に向けて（2）	文献検索ガイダンス	講義（e-ラーニング）
19	EBMの実践に向けて（3）	システマティック・レビューとは	講義（e-ラーニング）
20	EBMの実践に向けて（4）	検索した文献の批判的吟味	講義（e-ラーニング）

20 コマ*90分=1,800分=30時間

評価方法：e-ラーニングによるテスト

2. Update な実践能力を修得する科目 (2単位) (33時間)

目標：助産師が正常な妊娠・分娩・産褥・新生児の助産ケアを責任をもって行うことができる。

院内助産と同等レベルの助産ケア*が自律して行える。

*助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー) レベルⅢに該当する。

- 1) 入院期間をとおして責任をもって妊産褥婦・新生児の助産ケアを実践できる。
- 2) 助産外来において、個別性を考慮したケアを自律して提供できる。
- 3) 助産外来において、指導的な役割を実践できる。
- 4) 院内助産において、自律してケアを提供できる。
- 5) ハイリスクへの移行を早期に発見し対応できる。

	授業項目	詳細	教育方法
1	妊娠期の健康診査：妊婦健診	妊婦健診(問診・外診・聴診・触診・視診、フィジカルアセスメント含める)	講義(e-ラーニング)
2	妊娠期の健康診査	予防接種、母子健康手帳	講義(e-ラーニング)
3	助産師が行う超音波検査	超音波の基本、超音波診断(妊娠20週、36週、40週)、スクリーニング、助産師が行う超音波診断	講義(e-ラーニング)
4	フィジカルアセスメント	母体のフィジカルアセスメント(脳神経、呼吸循環、代謝) 妊娠と糖尿病	講義(e-ラーニング)
5	分娩介助技術	実践に役立つ分娩介助技術	講義(e-ラーニング)
6	フリースタイル分娩	フリースタイル分娩とは	講義(e-ラーニング)
7	産痛緩和法	様々な産痛緩和の方法	講義(e-ラーニング)
8	胎児心拍モニタリングの判読について(1)	モニタリングの基礎	講義(e-ラーニング)
9	胎児心拍モニタリングの判読について(2)	臨床に必要なモニター判読の知識	講義(e-ラーニング)
10	産褥期の健康診査：母乳育児(乳腺炎、授乳姿勢)	母乳哺育に関連したトラブル	講義(e-ラーニング)
11	産褥期の健康診査：尿失禁、骨盤底筋群	産褥期に起こりやすいトラブル	講義(e-ラーニング)
12	フィジカルアセスメント	新生児のフィジカルアセスメント	講義(e-ラーニング)
13	新生児の健康診査(1)	新生児の出生時管理	講義(e-ラーニング)
14	新生児の健康診査(2)	新生児医療における生命倫理	講義(e-ラーニング)
15	分娩時の緊急対応(1)	産後出血等の病態生理	講義(e-ラーニング)
16	分娩時の緊急対応(2)	HELLP症候群等の病態生理	講義(e-ラーニング)
17	分娩時の緊急対応(3)	産後出血等の対処法	演習
18	分娩時の緊急対応(4)	HELLP症候群等の対処法	演習
19	新生児蘇生法(1)	Aコース開催	演習
20	新生児蘇生法(2)	Aコース開催	演習
21	新生児蘇生法(3)	Aコース開催	演習
22	新生児蘇生法(4)	Aコース開催	演習

22コマ*90分=1,980分=33時間

評価方法：e-ラーニングによるテスト、演習参加度

3. 対人関係能力を修得する科目（2単位）〈25.5時間〉

目標：質の高い、対象者中心の医療を展開するために、対象者との円滑なコミュニケーションをはかり、信頼関係を得ることができるような技術を習得する。また、医療チームの中で、相手に的確に自分の考えを伝えることができ、よりよい医療をめざしてコンセンサスを得ることができる技術を習得する。医療倫理を理解し、倫理にもとづいた行動をとることができる。

	授業項目	詳細	教育方法
1	医療現場における接遇マナー	接遇の重要性・原則 接遇マナーの実際	講義（e-ラーニング）
2	アサーティブネス～医療者への対応	コンセンサスを形成する能力 医療者への対応	講義（e-ラーニング）
3	アサーティブネス～医療者以外への対応	クレーム対応 緊急時の対応	講義（e-ラーニング）
4	医療倫理（1）	医療現場の倫理	講義（e-ラーニング）
5	医療倫理（2）	患者中心の医療、守秘義務	講義（e-ラーニング）
6	助産記録・医療記録	記録の原則 情報管理 家族参加型記録の意義と方法	講義（e-ラーニング）
7	意思決定支援	意思決定支援とは 意思決定支援ツール 意思決定支援の実際（場面）HTLV-1の支援等）	講義（e-ラーニング）
8	チーム医療	産科医療の現状 産科医療を支える専門職者の役割 多職種との連携・協働 チーム医療のあり方	対面講義
9	認知行動療法に基づくコミュニケーション技法（1）	認知行動療法の視点にたつて、日常の臨床場面におけるコミュニケーションを考え直す	演習
10	認知行動療法に基づくコミュニケーション技法（2）	同上	演習
11	認知行動療法に基づくコミュニケーション技法（3）	同上	演習
12	認知行動療法に基づくコミュニケーション技法（4）	同上	演習
13	ラボラトリー方式体験学習（1）	・自分の気持ちや想いに目を向けうけとめてみる ・自分の関わり方に気づき、確かめ、考える ・一人ひとりの特徴や想いに目を向け、相手をうけとめてみる ・体験からの学び方を知り、自分の可能性を探る	演習
14	ラボラトリー方式体験学習（2）	同上	演習
15	ラボラトリー方式体験学習（3）	同上	演習
16	ラボラトリー方式体験学習（4）	同上	演習
17	ラボラトリー方式体験学習（5）	同上	演習

17コマ*90分=1,530分=25.5時間

評価方法：e-ラーニングによるテスト、演習参加度

4. 教育力・マネジメント力を修得する科目（2単位）（31.5時間）

目標：組織管理、キャリアディベロップメント、マネジメントなどの学習を通して教育のあり方を再考し、専門職としての管理能力を高める。

	授業項目	詳細	教育方法
1	学びつづける組織風土（1）	継続的に学び続ける組織	講義(e-ラーニング)
2	学びつづける組織風土（2）	継続的に学び続ける動機づけ	講義(e-ラーニング)
3	保健指導のコツと実際	保健指導の必要な場面 指導の実際	講義(e-ラーニング)
4	災害時の対応の実際（1）	母子の災害時の対応	講義(e-ラーニング)
5	災害時の対応の実際（2）	災害時の助産師の役割	講義(e-ラーニング)
6	長崎県の周産期医療	長崎県の周産期医療の取組み	講義(e-ラーニング)
7	安全と施策	周産期数値の分析と意味づけ、産科医療補償制度	講義(e-ラーニング)
8	看護職のための書き方ノート （1）	記述力をつける - 仕事の文書作成の基本 -	講義(e-ラーニング)
9	看護職のための書き方ノート （2）	記述力をつける - 仕事の文書作成の基本 -	講義(e-ラーニング)
10	人に仕事を与える・任せる（1）	看護管理塾 看護ものがたりより	講義(e-ラーニング)
11	人に仕事を与える・任せる（2）	看護管理塾 看護ものがたりより	講義(e-ラーニング)
12	キャリアディベロップメント （1）	キャリアディベロップメント	講義(e-ラーニング)
13	キャリアディベロップメント （2）	助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の考 え方	講義(e-ラーニング)
14	マネジメント	管理のあり方・考え方	講義(e-ラーニング)
15	開業助産師としての助産管理	開業助産のマネジメント	講義(e-ラーニング)
16	変革（アントレプレナー）・リ ーダーシップ（1）	チェンジセオリ、リーダーシップ	講義(e-ラーニング)
17	変革（アントレプレナー）・リ ーダーシップ（2）	チームのコンピテンシー・メンバーの価値を高め る	講義(e-ラーニング)
18	助産／母子保健と地域との関 わり（1）	地域母子保健と助産師の役割	講義(e-ラーニング)
19	助産／母子保健と地域の関わ り（2）	地域母子保健と助産師の役割	講義(e-ラーニング)
20	助産／母子保健と国際の関わ り（1）	国際保健と助産師の役割	講義(e-ラーニング)
21	助産／母子保健と国際の関わ り（2）	国際保健と助産師の役割	講義(e-ラーニング)

21 コマ*90分=1,890分=31.5時間

評価方法：e-ラーニングによるテスト